本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いて、これででしょうが、

リレー形式で、市内の企業やものづくり・ 人づくりについて紹介しています。

Nº17

The company in Shirakawa

明陽食品工業術 Meiyo-Foods Co., Ltd.

住 所:大信隈戸字中島40 事業内容:ジャム、ゼリー、ドレッシン

グ等の製造・販売・受注加工

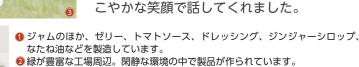


地産地消にこだわり、「おいしさ」と 「愛情」をたっぷりと瓶に詰め込む









- ❸ 取締役の井上さん。原料の生産者とのつながりをとても大切にしています。❹ 清潔に保たれた工場内。県南衛生協会から「食品衛生優良施設」の表彰を受けています。
- ⑤ 瓶詰め作業の様子。おいしさに加え、製品への愛情が込められています。
- ⑥ 原料の梅や桃の種は、廃棄せず炭として製品化。消臭や脱臭、調湿に優れています







白河市民への愛がいっぱい

全国から多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、7月19日から8月15日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

8月16日以降の義援金・寄附金は、次号でお伝えします。

- ●(株)サン・ベンディング白河様
- ●極真会館門馬道場 師範 門馬智幸様
- ●世田谷区長 保坂展人様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》 (7月22日~8月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会様
- ●とちぎYMCA様
- 県南木もれび倶楽部 代表 山本光子様
- 公益財団法人 都市緑化機構 理事長 輿水肇様

Introduction of the cover

今日早の実績

今月号の表紙は、白河関まつりでの「白河関の踊り流し」の様子です。今年は17団体、約750人が参加し、白河駅前の1周約1kmのコ

「私たちの会社は、農産物の加工品を製造

しています。"作り手の顔が見える物づくり"

をモットーに、原料調達から製造・瓶詰め・

出荷まで、すべて自社で行っています」と話

ドレッシング等の製造・販売、受注加工を行

原料とする素材には、地元や県内産(一部

国内産)を使用しています。原発事故による

風評の影響は少なからずあるものの、地産地

消に強い信念を持ち続け、震災以降は原料の

搬入前と加工後に、放射性物質の検査を行い 安全性を確認。素材の持ち味とおいしさを大

切に、愛情を込めてひと瓶ひと瓶、丁寧に製

品化しています。代表的な製品の、梅・ヤーコン・りんごジャムは市が認証する「白河ブランド」に、桑の実ジャムほか4品は「福島県観光みやげ品推薦品」に選定されています。「お客さんの要望で製品開発を行うこともあります。その際は、お客さんとよく話し合い、二人三脚でより良い製品づくりを心掛けています。今後は、農業後継者の方と新製品

の開発をしたいと考えています。地域の原料

を生かした製品づくりを通じて、地域の元気 や勇気を発信していきます」と井上さんはに

明陽食品工業は、平成13年に旧大信村で 創業。農産物を加工して、ジャムやゼリー、

す取締役の洋子美由紀さん。

っています。

ースで、約1時間に わたって踊りが披露 されました。沿道に は大勢の来場者が詰 め掛け、団体ごとの 色鮮やかな衣装での 舞いを楽しみました。



「いいね!」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



https://www.facebook.com/city.shirakawa